

令和8年度

中津川市下水道事業会計補正予算書

令和8年6月補正

令和8年度 中津川市下水道事業会計補正予算 (税込み) (第1号)

議第47号

(総則)

第1条 令和8年度中津川市下水道事業会計の補正予算(第1号)は、次に定めるところによる。

(資本的収入及び支出)

第2条 令和8年度中津川市下水道事業会計予算(以下「予算」という。)第4条本文括弧書中「資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額987,552千円、過年度損益勘定留保資金926,666千円」を「資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額963,352千円、過年度損益勘定留保資金902,466千円」に改め、資本的収入の予定額を次のとおり補正する。

収 入

科 目	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
第1款 資本的収入	1,856,782千円	24,200千円	1,880,982千円
第1項 企業債	1,093,500千円	19,200千円	1,112,700千円
第2項 出資金	239,121千円	5,000千円	244,121千円

(企業債)

第3条 予算第6条に定めた限度額を次のように改める。

(補正前)

起債の目的	限度額(千円)	起債の方法	利 率	償還の方法
下水道整備事業	592,800	証書借入	5.0%以内(ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	借入先の融資条件による。ただし、企業財政その他の都合により繰上償還又は低利に借り換えることができる。なお、起債の全部又は一部を翌年度へ繰越して借入れることができる。
資本費平準化	500,700			
計	1,093,500			

(補正後)

起債の目的	限度額(千円)	起債の方法	利 率	償還の方法
下水道整備事業	612,000	証書借入	5.0%以内(ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	借入先の融資条件による。ただし、企業財政その他の都合により繰上償還又は低利に借り換えることができる。なお、起債の全部又は一部を翌年度へ繰越して借入れることができる。
資本費平準化	500,700			
計	1,112,700			

令和8年6月5日提出

中津川市長 小栗 仁志

資料

令和8年度中津川市下水道事業会計補正予算説明書

令和8年度 中津川市下水道事業会計補正予算実施計画 (税込み)

資本的収入

(収入の部)

(単位：千円)

款	項	目	既 決 予定額	補 正 予定額	計	備 考
1 資本的収入			1,856,782	24,200	1,880,982	
	1 企 業 債		1,093,500	19,200	1,112,700	
		1 企 業 債	1,093,500	19,200	1,112,700	
	2 出 資 金		239,121	5,000	244,121	
		1 出 資 金	239,121	5,000	244,121	

令和8年度 中津川市下水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書（間接法）

（令和8年4月1日から令和9年3月31日まで）

（単位：千円）

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	△ 285,807
減価償却費	1,749,112
固定資産除却費（除却工事費を除く）	15,896
賞与引当金の増減額（△は減少）	332
法定福利費引当金の増減額（△は減少）	56
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△ 62
長期前受金戻入額	△ 666,200
受取利息及び受取配当金	0
支払利息及び企業債取扱諸費	185,018
未収金の増減額（△は増加）	△ 1,349
未払金の増減額（△は減少）	△ 30,068
たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 2,541
前払金（△は増加）	0
預り金の増減額（△は減少）	0
小計	964,387
支払利息及び企業債取扱諸費	△ 185,018
業務活動によるキャッシュ・フロー	779,369

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 1,259,790
有形固定資産の売却による収入	1
負担金等による収入	524,160
負担金等過年度返還金による支出	△ 2,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 737,679

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,112,700
一時借入による収入	300,000
一時借入金の返済による支出	△ 300,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,582,494
一般会計からの出資による収入	244,121
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 225,673

資金増加額（又は減少額）	△ 183,983
資金期首残高	1,020,802
資金期末残高	836,819

令和8年度 中津川市下水道事業会計予定貸借対照表 (税抜き)

(令和9年3月31日)

資 産 の 部

(単位:千円)

1 固 定 資 産

(1) 有形固定資産

イ 土 地		1,858,722	
ロ 建 物	2,091,702		
減価償却累計額	<u>△667,714</u>	1,423,988	
ハ 構 築 物	46,309,300		
減価償却累計額	<u>△9,917,247</u>	36,392,053	
ニ 機 械 及 び 装 置	4,507,418		
減価償却累計額	<u>△2,186,350</u>	2,321,068	
ホ 車 両 運 搬 具	156,161		
減価償却累計額	<u>△70,631</u>	85,530	
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	23,750		
減価償却累計額	<u>△4,605</u>	19,145	
ト 建 設 仮 勘 定		<u>1,452,126</u>	
有形固定資産合計			43,552,632

(2) 無形固定資産

イ 地 上 権		4,124	
ロ ソ フ ト ウ ェ ア		<u>7</u>	
無形固定資産合計			<u>4,131</u>
固定資産合計			43,556,763

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金		836,819	
(2) 未 収 金	140,172		
貸倒引当金	<u>△593</u>	139,579	
(3) 貯 蔵 品		<u>5,774</u>	
流動資産合計			<u>982,172</u>
資 産 合 計			<u><u>44,538,935</u></u>

注記

I. 重要な会計方針

1 資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法によっている。

2 固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産（リース資産を除く。）

・減価償却の方法	定額法による。
・主な耐用年数	
建物	15～50年
構築物	7～50年
機械及び装置	6～20年
車両及び運搬具	4～7年
工具器具及び備品	3～15年

(2)無形固定資産（リース資産を除く。）

・減価償却の方法	定額法による。
・主な耐用年数	
ソフトウェア	5年

3 引当金の計上方法

(1)退職給付引当金

職員の退職手当は、「地方公営企業会計に係る申し合わせについて」に基づき、令和6年度から一般会計がその全部を負担することとなったため、退職給付引当金は計上していない。

(2)賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3)法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4)貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率により回収不能見込額を計上している。

4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. リース契約により使用する固定資産

1 リース取引の処理方法

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

2 リース会計に係る特例措置

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

III. 予定貸借対照表に関する注記

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債(当事業年度末日の翌日から起算して1年以内に償還期限が到来するものも含む。)のうち、他会計が負担すると見込まれる額は10,780,005千円である。

IV. セグメント情報に関する注記

1 報告セグメントの概要

下水道事業会計は、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業及び個別排水処理事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから、それらを報告セグメントとしている。

なお、報告セグメントに属する事業の内容及び財務情報の内訳は以下のとおりである。

セグメント区分	事業の内容
公共下水道事業	市街地における、し尿・生活雑排水等の処理
特定環境保全公共下水道事業	市街地周辺の区域における、し尿・生活雑排水等の処理
農業集落排水事業	農業集落における、し尿・生活雑排水等の処理
個別排水処理事業	合併浄化槽による、し尿・生活雑排水等の処理

2 報告セグメントごとの資産、負債、その他の項目の金額

当年度（自 令和8年4月1日 至 令和9年3月31日）

（単位：千円）

	公共下水道事業	特定環境保全公共下水道事業	農業集落排水事業	個別排水処理事業	合計
営業収益	530,575	359,753	140,322	4,396	1,035,046
営業費用	1,266,785	1,114,745	574,154	6,436	2,962,120
営業損益	△ 736,210	△ 754,992	△ 433,832	△ 2,040	△ 1,927,074
経常損益	△ 14,380	△ 152,211	△ 118,214	△ 1,002	△ 285,807
セグメント資産	20,184,953	16,279,623	8,070,661	3,698	44,538,935
セグメント負債	14,464,179	10,711,509	4,378,045	28,364	29,582,097
その他の項目					
他会計繰入金	488,860	615,243	284,998	2,461	1,391,562
減価償却費	769,333	633,464	345,277	1,038	1,749,112
支払利息	72,615	83,487	28,476	440	185,018
特別利益	1	0	0	0	1
特別損失	1	0	0	0	1
有形固定資産及び無形固定資産の増加	874,124	242,362	34,767	0	1,151,253

V. その他の注記

1 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金

当事業年度において、期末手当・勤勉手当を支給するため、賞与引当金6,255千円を取り崩す予定である。

(2) 法定福利費引当金

当事業年度において、期末手当・勤勉手当に係る法定福利費を支払うため、法定福利費引当金1,065千円を取り崩す予定である。

(3) 貸倒引当金

当事業年度において、不納欠損に充てるため、貸倒引当金655千円を取り崩す予定である。

令和8年度 中津川市下水道事業会計補正予算実施計画説明書（税込み）

資本的収入

（収入の部）

（単位：千円）

款 項	目	節	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	説 明
1 資 本 的 収 入			1,856,782	24,200	1,880,982	
1 企 業 債			1,093,500	19,200	1,112,700	
	1 企 業 債		1,093,500	19,200	1,112,700	
		企 業 債	1,093,500	19,200	1,112,700	脱炭素化推進事業 (公共)16,300 (特環)2,900
2 出 資 金			239,121	5,000	244,121	
	1 出 資 金		239,121	5,000	244,121	
		一般会計出資金	239,121	5,000	244,121	(公共)DX技術を活用した管路の点検・調査分